

第2回薬業スキルアップセミナーのご案内

【主催】滋賀県健康医療福祉部薬務課・一般社団法人滋賀県薬業協会

【共催】滋賀製薬技術者会

【協力】一般社団法人日本PDA 製薬学会関西勉強会

■ ご案内

平素は、本県の薬務行政の推進のために格別の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、製薬等技術の向上支援事業の一環として標記セミナーを以下のとおり開催しますのでお知らせします。

つきましては、貴社から参加を希望される場合は、次ページのURLまたは二次元バーコードからお申し込みをお願いします。

■ 開催日時

令和6年11月22日（金） 13:30～16:30

■ 日程

● 第1部：13:30～15:00

テーマ：「製薬現場にDX推進 - 電子化のメリットと障壁への対応方法 -」

株式会社ユニオンシンク 営業部 スペシャリスト 相菌 吉孝 先生

【要旨】

昨今、製薬業界にも電子化の波が押し寄せてきています。そのような中で、「どのように電子化を進めたらよいか」「どの点に気を付ければよいか」など、実際に現場で電子化を進められる方には課題を内包されているのも事実です。今回のセミナーでは、そのような課題に対し「DXの考え方」を通じ、皆様の電子化が少しでも進むような、改善の参考にしていただける内容をご紹介します。また、電子化を進める中で必須のCSVやDI等についても、対応の解説を行います。

● 第2部：15:00～16:30

テーマ：「不正製造の発生予防及び継続的な改善に向けた取り組みについて」

熊本保健科学大学 品質保証・精度管理学共同研究講座 特命教授 蛭田 修 先生

【要旨】

医薬品の不正製造は、医薬品産業の信頼性を失わせ、安定供給を脅かす。これまで、改善に向け様々な取り組みが行われたが、依然として不正製造が認められる。

演者らは昨年度より厚生労働科学研究により、不正製造防止に向け根本的改善に資すべく、問題検知力及び問題解決力の向上、官民の情報共有、製造委受託、製造業者のガバナンス確保、デジタルの活用等の課題について検討を開始した。本講演では、演者の私見も交え本研究の成果について紹介したい。

■ 開催方法

オンライン（※1）および薬業技術振興センター（※2）で参加できるハイブリッド開催

※1. オンラインは Zoom によるウェビナー形式となります。インターネット接続にて、Zoom へのアクセスができるスマホやパソコン、タブレット等で参加いただけます。

※2. 薬業技術振興センターでの参加は最大20名程度となります。

■ 受講対象者

県内の製薬等企業の方

■ 申込み方法と申込み期限等

（1）申込み方法

下記、しがネット受付サービスのURLまたは二次元バーコードからお申し込みくだ

さい。

URL :

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/yakugyo-r6-ss2>

二次元バーコード :



なお、システムの関係上、参加端末毎に申し込みが必要なため、1回の申込みで複数端末の申込みはできません。複数の端末から聴講される場合は、個々に申込をお願いします。
また、メールアドレス入力の際は、入力間違いがないか十分に御確認下さい。

(2) 申込み期限

令和6年11月12日(火) (期限厳守)

(3) 参加方法

WEB参加の方には、11月20日(水)までに当センターから申込フォームに記入されたメールあてにセミナーの接続情報をメールで送信いたします。

開催日当日は、この接続情報からご参加ください。接続情報に併せて、当日の資料も送付いたします。

(会場参加の方は、当日、当センターまでお越しください。)

〒520-3433 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場 700-1 滋賀県薬業技術振興センター (担当：林) 電話(0748)88-2122/E-mail : eh0001@pref.shiga.lg.jp
--